

寒川町自立支援協議会資料

文責：障がい者相談支援事業所 ゆいっと
佐藤 敏彦

寒川3園保育士勉強会（一之宮、寒川、旭）アンケート結果

開催日時 2019年11月29日（金）17:30～19:00

会場 寒川保育園ホール

参加人数 32名

【アンケート結果報告】

①研修内容について

良い 32名 普通 0名 悪い 0名

理由（自由記載から抜粋）

- ・子どもたち一人ひとりを丸ごと受け止める大切さを確認できた
- ・気になる子の行動に意味があることを気づくことができ、接し方を考え直そうと思った。
- ・「伝える」ことの難しさを感じた。「伝える」ではなく「伝わる」工夫を考えていきたい

②保育に活かせるものだったか


活かせる 28名 活かせるが難しい 4名 活かさない 0名

理由（自由記載から抜粋）

- ・一人ひとりを理解して関わるようにしていきたい
- ・どの子にも配慮が必要なこと、同じ子どもであることを意識して関わる
- ・発達のおまじゆや障がい児のある前に一人の子どもとして接していきたい

③今後希望する研修内容

- ・事例をもとにした、具体的なかかわり方
- ・「遊び」を活かした発達支援の方法



『行動や言葉の気になる子ども～発達に
つまずきのある子どもとのかかわり』

2019年11月29日（金）

さむかわ保育園・旭保育園・一之宮愛児園

保育士勉強会

特定非営利活動法人 藤沢相談支援ネットワーク

寒川町障がい者相談支援事業所 ゆいっと

佐藤 敏彦



本日のメニュー

1. 「気になる子ども」の現状

- ① 「気になる子ども」の割合
- ② 「発達のおつまずき」にある要因
- ③ 「伝達」と「理解」の難しさ（体験）

2. 子どもと関わるために何が必要か

- ① 一人ひとりを知る
- ② 行動の意味を知る・考える
- ③ 必要な配慮と関わり方を知る

3. 最後に

① 「気になるこども」の割合

実施 保育園数	園児 総数	相談 件数	年少以 下	年少 (3歳 児)	年中 (4歳 児)	年長 (5歳 児)	合計
12園 ○市立10園 ○民間2園	1378 名	85名	13名	8名	30名	34名	85名



内訳



さらに

	年少 (3歳児)	年中 (4歳児)	年長 (5歳児)
園児総数	347名	426名	449名
対象者数	8名	30名	34名
比率	2.30%	7.04%	7.57%

寒川町で関わっている保育園の年長クラスでは、1クラス25名のうち、8人が「気になる子」でクラスの3分の1を占める現実

② 「発達のおつまずき」にある要因

障がい名	特性
知的障がい	知的発達の遅れ 言語の発信、理解が難しい 行動が緩慢 体の発達がゆっくり
自閉スペクトラム症	言語の発信、理解が難しい（コミュニケーション） 一人を好む・視線が合わない（社会性） こだわりが強い・同じ遊びを好む（想像力） 抱っこを嫌がる・大きな音が苦手
注意欠陥多動性障害 （AD/HD）	集中できない（不注意） 常に動いており、じっとしてられない（多動） 考えるよりも先に動く（衝動性）
学習障害（LD）	読み、書きが苦手 聞く、話すは苦手 推論することが苦手

②行動の意味を知る

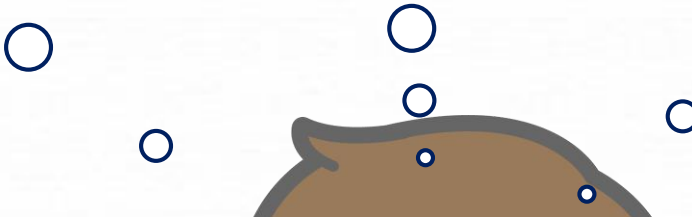
行動	行動の解釈
落ち着かず動き回る	<ul style="list-style-type: none">・自分の居場所がわからない・何をするかわからない・興奮して自分ではコントロールできない
かんしゃくを起こす	<ul style="list-style-type: none">・自分が思っていたことと違う活動や対応・伝え方がわからない・言われたことがわからない・誤った理解や解釈をしている
お友達に手を出す	<ul style="list-style-type: none">・伝え方がわからない・大きな声や泣き声が苦手・どう関わっていいかわからない
活動に参加できない	<ul style="list-style-type: none">・何をするかわからない・集団や人混みが苦手・切り替えが苦手
順番が守れない	<ul style="list-style-type: none">・気になるものしか注目できない・相手の気持ちをくむことが苦手

②行動の意味を考える

うるさいな～

何言ってるの？
わかんないよ

まだ、車で遊
びたかったよ



子どもの行動から、子どもがどのように考えているか想像することが大切です。
その子の頭の上に「ふきだし」をいくつか作ってみましょう

③ かかわり方のポイント

① 「×」ではなく「○」を伝える

* 「ダメ」ではなく「○○します」

② 「できて当たり前」ということも評価

* できることの積み重ねが大事

③ 「楽しい」「やりたい」を提供

* 無理にやらせない。できるところから。

3. 最後に

- ◆ すべての子どもに「特別な配慮」や「特別なかわり」が必要
- ◆ なぜなら、一人ひとり「安心」や「安定」「成長」の中身が違うから
- ◆ だからこそ、子ども一人ひとりが尊重され、必要な時に必要な配慮やかわりが大事
- ◆ すべての子どもが、愛され、その子らしく健やかに成長できる地域であるように